

(様式第 10)

岩医大病企第 68 号
平成 3

厚生労働大臣 殿

学校法人岩手医科大学
理事長 小川 章

岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号
氏 名	学校法人岩手医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

岩手医科大学附属病院

3 所在の場所

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号	電話 (019) 651-5111
----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 呼吸器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 2 消化器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 3 循環器内科 <input checked="" type="checkbox"/> 4 腎臓内科 <input checked="" type="checkbox"/> 5 神経内科 6 血液内科 <input checked="" type="checkbox"/> 7 内分泌内科 8 代謝内科 9 感染症内科 <input checked="" type="checkbox"/> 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 <input checked="" type="checkbox"/> 11 リウマチ科	
診療実績	
・ 血液内科：血液・腫瘍内科 ・ 代謝内科：糖尿病・代謝内科 ・ 感染症内科：呼吸器・アレルギー・膠原病内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 5血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科
③乳腺外科 7内分泌外科	4心臓外科 ⑧小児外科
診療実績 ・ 内分泌外科：外科	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

11リハビリテーション科	2循環器小児科	3循環器放射線科	4臨床検査科	5病理診断科	6肝臓内科
7心療内科	8老年内科	9緩和ケア内科	10肝臓外科	11気管食道外科	12形成外科
13頭頸部外科	14美容外科	15	16	17	18

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
78床	床	床	床	1,088床	1,166床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	403人	96人	439.4人	看護補助者	113人	診療エックス線	0人

歯科医師	102人	1人	102.3人	理学療法士	18人	技師 臨床検査技師	83人
薬剤師	81人	1人	81.3人	作業療法士	10人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	50人	0人	50人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,259人	2人	1,260.2人	臨床工学士	28人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	2人	0人	2人	栄養士	7人	その他の技術員	119人
歯科衛生士	36人	0人	36人	歯科技工士	9人	事務職員	178人
管理栄養士	23人	0人	23人	診療放射線技師	74人	その他の職員	1人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	38人	眼科専門医	17人
外科専門医	43人	耳鼻咽喉科専門医	8人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	18人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	18人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	21人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	18人
		合計	273人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (小笠原 邦昭) 任命年月日 平成30年4月1日

平成30年2月～病院長補佐

・総合医療安全対策会議の委員として、医療安全・感染の管理業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	878.9人	19.3人	898.2人
1日当たり平均外来患者数	1574.4人	395.6人	1970.0人
1日当たり平均調剤数			1379.2 剤
必要医師数			180.9人
必要歯科医師数			21.9人
必要薬剤師数			28人
必要(准)看護師数			484人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
			病床数		心電計	
集中治療室 (東4階)	255.315 m ²	鉄筋 コンクリート	病床数	14床	心電計	○有・無
			人工呼吸装置	○有・無	心細動除去装置	○有・無
			その他の救急蘇生装置	○有・無	ペースメーカー	○有・無
集中治療室 (循環器)	196.752 m ²	鉄筋 コンクリート	病床数	12床	心電計	○有・無
			人工呼吸装置	○有・無	心細動除去装置	○有・無
			その他の救急蘇生装置	○有・無	ペースメーカー	○有・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	143.1m ² 0台	病床数	11床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	49.289m ² 薬剤長室			
化学検査室	229.64 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	111.05 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性測定装置、血液培養装置 他			
病理検査室	158.71 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	126.96 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 解剖台、ホルマリン調合器、オートクレーブ 他			
研究室	3,203.01m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 研究用機器 他			
講義室	1,869.03m ²	鉄筋コンクリ 鉄骨鉄筋	室数	10 室	収容定員	998 人
図書室	3,825.00m ²	鉄筋コンクリ	室数	37 室	蔵書数	191,390 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	76.0 %	逆紹介率	84.0 %
算出根拠	A: 紹介患者の数		19,174 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		23,064 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,696 人
	D: 初診の患者の数		27,446 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 医学部 医療 の質・安全管理 分野 主任教授	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
渡辺 正和	渡辺正和法律 事務所 代表		法律に関する識見を有する者	有・ 無	1
古内 保之	元社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 専務理事兼事務局長		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	①有・無
委員の選定理由の公表の有無	①有・無
公表の方法 附属病院ホームページ掲載による	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
対象なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る)の併用療法	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	2人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	ECMO(体外式膜型人工肺装置)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肺の機能である酸素と炭酸ガスのガス交換を膜型人工肺装置により体外循環で補助する方法。ガス交換補助と同時に病的肺の安静化により肺の治癒修復を促す。			
医療技術名	心臓弁膜症疾患に対する右開胸、小切開アプローチによる心臓外科手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 従来の胸骨正中切開と比較し、より低侵襲な外科治療(従来技術:15~20cmの創、本技術:6~8cmの創)であり、術後疼痛の軽減、感染リスク低減が見込まれる。従来のアプローチに比べ、手術時間を要する場合がある。			
医療技術名	自己心膜を用いた大動脈弁置換術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 自己心膜を用いた大動脈弁再建を行うことで、機械弁置換とは異なり①抗凝固療法が不要となる②胎児への催奇形性の回避③小児体格でも大動脈弁再建が可能などのメリットが得られる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	4	56 ベーチェット病	91
2 筋萎縮性側索硬化症	45	57 特発性拡張型心筋症	72
3 脊髄性筋萎縮症	3	58 肥大型心筋症	4
4 原発性側索硬化症	0	59 拘束型心筋症	0
5 進行性核上性麻痺	14	60 再生不良性貧血	41
6 パーキンソン病	278	61 自己免疫性溶血性貧血	0
7 大脳皮質基底核変性症	6	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	58
9 神経有棘赤血球症	1	64 血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	2	65 原発性免疫不全症候群	4
11 重症筋無力症	100	66 IgA 腎症	17
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	19
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎	134	68 黄色靭帯骨化症	10
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	27	69 後縦靭帯骨化症	61
15 封入体筋炎	6	70 広範脊柱管狭窄症	0
16 クロウ・深瀬症候群	0	71 特発性大腿骨頭壊死症	22
17 多系統萎縮症	18	72 下垂体性ADH分泌異常症	3
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	54	73 下垂体性TSH分泌亢進症	0
19 ライソゾーム病	3	74 下垂体性PRL分泌亢進症	9
20 副腎白質ジストロフィー	2	75 クッシング病	5
21 ミトコンドリア病	7	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	97	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	22
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	2	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	9	83 アジソン病	2
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	138
30 遠位型ミオパチー	0	85 特発性間質性肺炎	22
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	12
32 自己食空胞性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓性肺高血圧症	9
34 神経線維腫症	36	89 リンパ脈管筋腫症	2
35 天疱瘡	26	90 網膜色素変性症	22
36 表皮水疱症	0	91 バッド・キアリ症候群	5
37 膿疱性乾癬(汎発型)	17	92 特発性門脈圧亢進症	0
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93 原発性胆汁性肝硬変	79
39 中毒性表皮壊死症	0	94 原発性硬化性胆管炎	5
40 高安動脈炎	23	95 自己免疫性肝炎	33
41 巨細胞性動脈炎	0	96 クローン病	172
42 結節性多発動脈炎	13	97 潰瘍性大腸炎	244
43 顕微鏡的多発血管炎	14	98 好酸球性消化管疾患	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	7	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	8	101 腸管神経節細胞減少症	0
47 バージャー病	7	102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	235	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎/多発性筋炎	61	105 チャージ症候群	0
51 全身性强皮症	86	106 クリオピリン関連周期熱症候群	0
52 混合性結合組織病	36	107 全身型若年性特発性関節炎	1
53 シェーグレン症候群	6	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	6	109 非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	2	110 ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	15	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	6
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	3
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	2
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥創ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料 一般病棟7対1入院基本料	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料 精神病棟10対1入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算50対1	・入退院支援加算1
・看護職員夜間配置加算16対1	・入退院支援加算3
・診療記録管理体制加算2	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算(循環器のみ)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・重症者等療養環境特別加算	・呼吸ケアチーム加算
・無菌治療室管理加算1	・データ提出加算
・無菌治療室管理加算2	・精神疾患診療体制加算
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料1
・精神科応急入院施設管理加算	・特定集中治療室管理料4
・精神科身体合併症管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神病棟入院時医学管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)
・医療安全対策加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・感染防止対策加算1	・小児入院医療管理料2
・患者サポート体制充実加算	・小児入院医療管理料4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・HPV核酸検出、HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・糖尿病合併症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん患者指導管理料イ	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料ロ	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料ハ	・時間内歩行試験、シャトルウォーキングテスト
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・人工臓器療法、人工臓器検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来放射線照射診療料	・補聴器適合検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・コンタクトレンズ検査料1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・CT透視下気管支鏡検査
・医療機器安全管理料1	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・医療機器安全管理料2	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・医療機器安全管理料(歯科)	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・在宅血液透析指導管理料	・画像診断管理加算1
・在宅患者訪問看護・指導料	・画像診断管理加算2
・持続血糖測定器加算	・画像診断管理加算(歯科)
・皮下連続式グルコース測定	・遠隔画像診断
・精密触覚機能検査	・ポジトロン断層撮影
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影

・CT撮影及びMRI撮影	・皮膚移植術(死体)
・冠動脈CT撮影加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・外傷全身CT加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・心臓MRI撮影加算	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・小児鎮静化MRI撮影加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・外来化学療法加算1	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術
・無菌製剤処理料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。))
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・廃用症候群リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(インプラント挿入術(プレートのあるもの)
・運動器リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・がん患者リハビリテーション料	・人工中耳植込術
・リンパ浮腫複合的治療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術・交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・救急患者精神科継続支援料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・認知療法・認知行動療法2	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)線種過形成手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・医療保護入院等診療料	・乳腺悪性腫瘍手術
・口腔粘膜処置	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・レーザー機器加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・人工腎臓	・経カテーテル大動脈弁置換術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・経皮的僧帽弁クリップ術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・経皮的の中隔心筋焼灼術
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・手術用顕微鏡加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・CAD/CAM冠	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・歯科技工加算	・両室ペースキング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースキング機能付き植込型除細動器交換術
・センチネルリンパ節加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術	・
・内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	・
・内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月10回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 28 例 / 剖検率 5.6 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大津波災害が急性循環器疾患の発症に与える長期的影響とその対策に関する研究	中村 元行	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	1,170,000	補委 文部科学省
椎間板性腰痛に対する早期診断・治療システムの開発	土井田 稔	整形外科科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
3Dイメージングによる新たな解剖学的膝靭帯再建術の開発	田島 吾郎	整形外科科学講座	260,000	補委 文部科学省
循環器疾患発症と死亡に及ぼす慢性腎臓病のリスクの定量的評価	大澤 正樹	内科学講座循環器内科分野	650,000	補委 文部科学省
B型肝炎ワクチンに対する初期および記憶免疫応答に関する研究	宮坂 昭生	内科学講座消化器内科肝臓分野	390,000	補委 文部科学省
進行肝細胞癌におけるTGF- β とそのシグナルを標的としたIFN併用化学療法の展開	王 挺	内科学講座消化器内科肝臓分野	780,000	補委 文部科学省
拡散尖度イメージングによる早期アルツハイマー病の高精度鑑別診断法の確立	高橋 純子	内科学講座神経内科・老年科分野	910,000	補委 文部科学省
肥満・糖尿病に基づく動脈硬化形成における小胞体ストレスの役割の解明	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝内科分野	1,300,000	補委 文部科学省
血小板産生制御機能をもつmicroRNAの探索	古和田 周吾	内科学講座血液腫瘍内科分野	1,300,000	補委 文部科学省
超低容量血液浄化システムの開発	高田 彰	小児科学講座	1,430,000	補委 文部科学省
動脈硬化による閉塞性動脈疾患の非侵襲的画像診断法の開発	田中 良一	放射線医学講座	390,000	補委 文部科学省
大脳水拡散現象を基軸とした新たな完全無侵襲病態診断法の開発	藤原 俊朗	脳神経外科学講座	390,000	補委 文部科学省
NASH合併高度肥満症に対する肥満外科手術後のインスリン抵抗性と肝組織学的変化	佐々木 章	外科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
胃癌術後補助化学療法効果予測バイオマーカーの臨床的妥当性の検証	肥田 圭介	外科学講座	910,000	補委 文部科学省
食道癌肉腫の分子生物学的解析による食道扁平上皮癌・間葉系機構の解明	鴻巣 正史	外科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
脳アミノ酸代謝動態からみた頸動脈内膜剝離術後認知機能改善のメカニズムの解明	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	910,000	補委 文部科学省

小計16件

心臓植込み型電子機器装着患者の歯科治療時の安全性をin vivoで評価する	工藤 義之	歯科保存学講座う蝕治療学分野	910,000	補委 文部科学省
健康長寿社会にむけて唾液を用いた簡便迅速な味覚障害スクリーニング法の臨床応用	島崎 伸子	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	520,000	補委 文部科学省
口腔機能の障害がヒト高次脳機能の学習記憶機能に及ぼす影響	小林 琢也	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	650,000	補委 文部科学省
自立高齢者における口腔カンジダ症リスク要因究明のためのコホート研究	岸 光男	口腔医学講座予防歯科学分野	1,170,000	補委 文部科学省
EGFRシグナルによる抗腫瘍免疫回避機構の解明と治療戦略への展開	前門戸 任	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	1,170,000	補委 文部科学省
東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断的支援研究	八木 淳子	神経精神科学講座	780,650	補委 文部科学省
大腸癌肝転移におけるがん微小環境の解明と組織評価への応用に関する研究	石田 和之	病理診断学講座	1,430,000	補委 文部科学省
マクロファージ表面マーカーを指標とした間質性肺炎の新規診断法の開発と病態機序解明	山下 雅大	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	1,820,000	補委 文部科学省
悉皆調査による脳卒中登録整備と東日本大震災後の中長期的脳卒中罹患状況に関する研究	大間々 真一	岩手県高度救命救急センター	1,560,000	補委 文部科学省
支援者への遺伝教育を盛り込んだ難聴児支援システムの構築	小林 有美子	耳鼻咽喉科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
剖検事例におけるリチウム中毒の評価と簡易リチウム分析法の検討	藤田 友嗣	救急・災害・総合医学講座救急医学分野	1,430,000	補委 文部科学省
肝再生不全克服に向けた機能肝細胞増殖機構に関する研究	滝川 康裕	内科学講座消化器内科肝臓分野	1,300,000	補委 文部科学省
超音波画像のテクスチャ解析とエラストグラフィによるNASHの非侵襲的診断法の開発	黒田 英克	内科学講座消化器内科肝臓分野	1,040,000	補委 文部科学省
7TeslaMRIによる神経Behcet病早期脳微小血管病変の検出	佐々木 信人	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	1,170,000	補委 文部科学省
超高磁場MRIによる数値流体解析とプラーク画像を用いた頸動脈術中塞栓発生の解明	小林 正和	脳神経外科学講座	1,950,000	補委 文部科学省
Velocity Vector Imagingを用いた胎児異常における心機能解析	菊池 昭彦	産婦人科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞癌に対するKANK1を標的とした新規治療法の開発	板持 広明	産婦人科学講座	910,000	補委 文部科学省
抗酸化剤・抗ストレス剤を用いた白内障の抑制	橋爪 公平	眼科学講座	1,430,000	補委 文部科学省

小計18件

早期骨形成を促す超親水性骨移植材の開発	鬼原 英道	補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野	1,430,000	補委 文部科学省
アトピー性皮膚炎の痒みにおける神経・内分泌・免疫のクロストーク	天野 博雄	皮膚科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
歯の萌出経路形成における歯槽骨骨吸収メカニズムの解明	森川 和政	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	551,843	補委 文部科学省
脊椎器械固定術後の血液マーカーによる簡易骨癒合診断システムの開発	村上 秀樹	整形外科学講座	2,080,000	補委 文部科学省
褐色脂肪細胞を活性化させる分子メカニズムの解明	長谷川 豊	内科学講座糖尿病・代謝内科分野	2,470,000	補委 文部科学省
発生部位による microsatellite stable型大腸癌の分子解析	菅井 有	病理診断学講座	1,950,000	補委 文部科学省
腺管分離法を用いたSNP arrayによる胆道癌のゲノムコピー数解析	塩井 義裕	外科学講座	4,420,000	補委 文部科学省
腸症関連T細胞リンパ腫の病態に関する臨床および分子病理学的研究	中村 昌太郎	内科学講座消化器内科消化管分野	1,170,000	補委 文部科学省
放射線治療用小型皮膚線量計の開発	山口 哲	放射線医学講座	2,860,000	補委 文部科学省
自己血採血後遅発性副作用のリスク解析と予防のための看護方法の開発	鈴木 啓二郎	臨床検査医学講座	1,690,000	補委 文部科学省
東日本大震災被災地域住民における心電図指標と循環器疾患発症危険に関する研究	田中 文隆	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	1,170,000	補委 文部科学省
幼少期トラウマ体験と遺伝子相互作用が神経ネットワークに与える影響	福本 健太郎	神経精神科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
ナノ粒子を用いた、癌原発巣-転移巣CT検出と、放射線遠達効果による転移巣の治療法	原田 聡	放射線医学講座	1,430,000	補委 文部科学省
血漿中遊離変異DNA定量による食道癌モニタリングシステムの開発	岩谷 岳	外科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
大腸癌の予後に関連するnon-coding RNA FTXに関する検討	秋山 有史	外科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
Muse細胞を用いた大量肝切除後補助療法へ向けた基盤構築	片桐 弘勝	外科学講座	2,210,000	補委 文部科学省
大量肝切除後の幹細胞補充療法	高原 武志	外科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
空間認識が人工内耳装用者の平衡機能に及ぼす影響の解明	平海 晴一	耳鼻咽喉科学講座	910,000	補委 文部科学省

小計18件

TGF- β による水晶体上皮細胞の上皮間葉系移行におけるMRTFの役割	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,690,000	補委	文部科学省
一酸化炭素中毒における連鎖的大脳白質障害の病態解明と最適予測因子の検索	別府 高明	脳神経外科学講座	1,040,000	補委	文部科学省
GDF-5と歯髄幹細胞ニッチを併用した新たな象牙質再生療法樹立の試み	丸谷 由里子	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者 歯科学分野	2,730,000	補委	文部科学省
家族性頸動脈小体腫瘍家系の遺伝子変異の解明と新規画像診断法を用いた分類法の確立	齋藤 大輔	耳鼻咽喉科学講座	1,170,000	補委	文部科学省
ダイアフラム型ポンプを用いた超低容量血液浄化システムの開発	石川 健	小児科学講座	130,000	補委	文部科学省
卵巣がんにおける免疫逃避機構改善を目指した新規ウイルス療法の開発	利部 正裕	産婦人科学講座	1,040,000	補委	文部科学省
呼気凝縮液を用いた急性肺障害発生予測	中舘 俊英	救急・災害・総合医学講座救急医学分野	130,000	補委	文部科学省
生殖補助医療後の出生前診断の経験についてのインタビュー調査	山本 佳世乃	臨床遺伝学科	650,000	補委	文部科学省
超高磁場7テスラMRIを用いたミニマル肝性脳症の発現機序に関する臨床的研究	佐原 圭	内科学講座消化器内 科肝臓分野	1,040,000	補委	文部科学省
心房細動の発生と心房リモデリングへのヒストン脱アセチル化酵素6の関与	松下 尚子	内科学講座循環器内 科分野	1,040,000	補委	文部科学省
頭頸部扁平上皮がんに関連するミトコンドリア遺伝子多型の検索	嶋本 記里人	耳鼻咽喉科学講座	650,000	補委	文部科学省
義歯安定剤が咀嚼能力改善に及ぼす影響に関する総合的検討	野村 太郎	補綴・インプラント学 講座補綴・インプラ ント学分野	520,000	補委	文部科学省
脳梗塞患者におけるConjoint分析を用いた定量的に機能予後評価スケールの作成	石塚 直樹	内科学講座神経内 科・老年科分野	910,000	補委	文部科学省
多白血球血漿を用いた β -D-glucan測定による深在性真菌症診断法の新規開発	菅 重典	岩手県高度救命救急 センター	1,430,000	補委	文部科学省
膠芽腫におけるPETを用いた腫瘍幹細胞高密度領域を同定する研究	佐藤 雄一	脳神経外科学講座	1,040,000	補委	文部科学省
DRLs2015以降のCT検査被ばくの検証—さらなる被ばく低減を目指して—	田村 明生(赤羽 明生)	放射線医学講座	520,000	補委	文部科学省
脳転移指向性乳癌細胞株および乳癌原発巣組織標本を用いた脳転移予測マーカー探索	石田 和茂	外科学講座	1,690,000	補委	文部科学省
変異遺伝子のモニタリングによる大腸癌術後の微小転移及び再発の新たな評価法の検証	八重樫 瑞典	外科学講座	1,430,000	補委	文部科学省

小計18件

食道癌テーラーメイド治療に向けた血中遊離DNA中の変異遺伝子診断法の開発	遠藤 史隆	外科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
悪性末梢神経鞘腫瘍におけるHDAC6とNACC1の機能の解析	多田 広志	整形外科学講座	1,820,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞由来破骨細胞分化抑制ペプチドの作用機序と炎症性骨吸収抑制効果の解明	菊池 恵美子(青松恵美子)	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	1,300,000	補委 文部科学省
風船様肝細胞の形成機序解明による非アルコール性脂肪性肝炎の治療標的分子解明の試み	柿坂 啓介	内科学講座消化器内 科肝臓分野	1,820,000	補委 文部科学省
炎症性刺激に影響されない細胞内シグナルを利用した新規骨再生療法の確立	横田 潤	補綴・インプラント学 講座補綴・インプラ ント学分野	1,300,000	補委 文部科学省
B型肝炎スクリーニング再構築に向けたmicroRNAによる発癌予測手法の確立	吉田 雄一	内科学講座消化器内 科肝臓分野	1,560,000	補委 文部科学省
気管支喘息患者の気道リモデリングにおけるIL-24の新たな作用に関する研究	長島 広相	内科学講座呼吸器・ アレルギー・膠原病内 科分野	650,000	補委 文部科学省
STIC法を用いた造影頸動脈超音波検査によるプラーク内新生血管の観察	大浦 一雅	内科学講座神経内 科・老年科分野	2,210,000	補委 文部科学省
肥満外科手術後の腸内・口腔内細菌叢の変化と肥満関連健康障害の改善機序の解明	馬場 誠朗	外科学講座	2,080,000	補委 文部科学省
抗炎症性血球細胞ニッチとしての間葉系幹細胞を利用したアテローム治療法の開発	滝沢 尚希	歯科保存学講座歯周 療法学分野	1,300,000	補委 文部科学省
超高精細CTによる冠動脈CTの基礎検討および臨床応用	高木 英誠	放射線医学講座	2,340,000	補委 文部科学省
モガムリズマブの免疫関連有害事象;制御性T細胞除去がヒト免疫機構に及ぼす影響解明	石田 高司	内科学講座血液腫瘍 内科分野	2,949,754	補委 文部科学省
肺癌/中皮腫に於けるPITX2を介したYAP経路によるレドックス制御の解明	重枝 弥	呼吸器外科学講座	1,430,000	補委 文部科学省
ヘリコバクターピロリ除菌後胃癌の臨床および分子病理学的研究	松本 主之	内科学講座 消化器 内科消化管分野	1,000,000	補委 岩手県
岩手県における肝不全診療体制の確立と有効な治療法の開発に関する研究	滝川 康裕	内科学講座 消化器 内科肝臓分野	1,000,000	補委 岩手県
東日本大震災地域における心電図異常の新規出現に関連する因子の検討	中村 元行	内科学講座 心血管・ 腎・内分泌内科分野	1,000,000	補委 岩手県
ヒト肺癌における変異型 epidermal growth factor receptor (EGFR)の分子シミュレーション解析にもとづく個別化治療	前門戸 任	内科学講座 呼吸 器・アレルギー・膠原 病内科分野	1,000,000	補委 岩手県
全自動血液凝固能測定器を用いた脳梗塞に対する抗血栓療法最適化に関する研究	寺山 靖夫	内科学講座 神経内 科・老年科分野	1,000,000	補委 岩手県

小計18件

岩手県で若年発症した急性冠症候群患者における臨床背景の検討	森野 禎浩	内科学講座 循環器内科分野	1,000,000	補委 岩手県
脳主幹動脈狭窄閉塞性病変における認知機能低下と脳アミロイド沈着との関連:脳血管性認知症とアルツハイマー型認知症の交点	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,000,000	補委 岩手県
重症糖尿病合併患者における心臓手術後の人工臓器の有用性に関する研究	金 一	心臓血管外科学講座	1,000,000	補委 岩手県
岩手県における腰椎変性疾患の病態解明と日常生活に及ぼす影響の調査	土井田 稔	整形外科科学講座	1,000,000	補委 岩手県
岩手県における糖尿病性壊疽による足切断症例の検討	櫻庭 実	形成外科学講座	1,000,000	補委 岩手県
岩手県産婦人科医療における第7次医療計画実施に向けた大学病院および県立病院連携の強化	杉山 徹	産婦人科学講座	1,000,000	補委 岩手県
新生児集中治療室からの後搬送システムの確立と、後搬送後のフォローアップ体制の整備	小山 耕太郎	小児科学講座	1,000,000	補委 岩手県
円滑な眼科診療における病々連携の構築をするための基本的研究	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,000,000	補委 岩手県
移植腎の蛋白発現解析による腎機能予後関連因子の探索～岩手県の腎移植増進に向けて～	小原 航	泌尿器科学講座	1,000,000	補委 岩手県
児童思春期症例への精神医学的アプローチの治療反応性と生物学的変化との関連性の検証	大塚 耕太郎	神経精神科学講座	1,000,000	補委 岩手県
前立腺癌IMRTにおける簡便な膀胱容量管理法の開発と普及	江原 茂	放射線医学講座	1,000,000	補委 岩手県
麻酔中低酸素状態の早期検出に関する研究	鈴木 健二	麻酔学講座	1,000,000	補委 岩手県
敗血症治療成績の向上に向けた敗血症早期診断能向上に関する研究	井上 義博	救急・災害・総合医学講座 救急医学分野	1,000,000	補委 岩手県
医療研究開発推進事業費補助金(橋渡し研究戦略的推進プログラム(シーズA))	山下 雅大	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	4,250,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

小計14件
合計102件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Asakura K, Yanai S, Nakamura S, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Familial Mediterranean fever mimicking Crohn disease: A case report.	Medicine (Baltimore). 2018 Jan; 97: e9547.	Original Article
2	Kawasaki K, Eizuka M, Nakamura S, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Association between white opaque substance under magnifying colonoscopy and lipid droplets in colorectal epithelial neoplasms.	World J Gastroenterol . 2017 Dec; 23: 8367- 8375.	Original Article
3	Kawasaki K, Fujita Y, Uesugi N, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Collagenous Gastritis Observed by Magnifying Narrow-Band Imaging Endoscopy.	J Gastrointestin Liver Dis. 2018 Mar; 27: 7.	Others
4	Kawasaki K, Kurahara K, Oshiro Y, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Gastrointestinal: Idiopathic granulomatous gastritis observed by magnifying narrow-band imaging endoscopy.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 May; 32: 947.	Others
5	Kawasaki K, Nakamura S, Kurahara K, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Continuing use of antithrombotic medications for patients with bleeding gastroduodenal ulcer requiring endoscopic hemostasis: a case-control study.	Scand J Gastroenterol . 2017 Sep; 52: 948-953.	Original Article
6	Matsumoto T.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Editorial covering DDW 2017 (6- 9 May 2017).	Dig Endosc. 2017 Sep; 29: 678-679.	Others

7	Oana S, Matsuda N, Sibata S, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	A case of a "wandering" mobile solitary fibrous tumor occurring in the pancreas.	Clin J Gastroenterol . 2017 Dec; 10: 535-540.	Case report
8	Toya Y, Eizuka M, Matsumoto T.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Submucosal Tumor of the Stomach With Drastic, Short- term Changes in Morphology.	Gastroenterol ogy. 2017 Aug; 153: 357-359.	Case report
9	Toya Y, Endo M, Akasaka R, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Clinicopathological Features and Magnifying Chromoendoscopic Findings of Non-Ampullary Duodenal Epithelial Tumors.	Digestion. 2018 Mar; 97: 219-227.	Original Article
10	Toya Y, Endo M, Nakamura S, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Clinical outcomes of non- curative endoscopic submucosal dissection with negative resected margins for gastric cancer.	Gastrointest Endosc. 2017 Jun; 85: 1218-1224.	Original Article
11	Yanai S, Nakamura S, Matsumoto T.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Reply.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2017 Oct; 15: 1637-1638.	Letter
12	Yanai S, Nakamura S, Matsumoto T.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Nivolumab-Induced Colitis Treated by Infliximab.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2017 Apr; 15: e80- e81.	Others
13	Yanai S, Nakamura S, Yamaguchi S, et al.	内科学講座 消化器内科消化管分野	Gastrointestinal mantle cell lymphoma with isolated mass and multiple lymphomatous polyposis: report of two cases.	Clin J Gastroenterol . 2017 Aug; 10: 327-330.	Case report

14	Abe T, Ujiie A, Taguchi Y, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Anomalous inferior mesenteric artery supplying the ascending, transverse, descending, and sigmoid colons.	Anat Sci Int. 2018 Jan; 93: 144-148.	Case report
15	Endo K, Kakisaka K, Suzuki Y, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Obstructive Bezoars of the Small Bowel Treated with Coca-Cola Zero through a Long Intestinal Tube and Endoscopic Manipulation.	Intern Med. 2017 Nov; 56: 3019-3022.	Case report
16	Kakisaka K, Kataoka K, Suzuki Y, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Appropriate timing to start and optimal response evaluation of high-dose corticosteroid therapy for patients with acute liver failure.	J Gastroenterol . 2017 Aug; 52: 977-985.	Original Article
17	Kakisaka K, Suzuki Y, Kataoka K, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Predictive formula of coma onset and prothrombin time to distinguish patients who recover from acute liver injury.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Jan; 33: 277-282.	Original Article
18	Kakisaka K, Yoshida Y, Suzuki Y, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Serum markers for mitochondrial dysfunction and cell death are possible predictive indicators for drug-induced liver injury by direct acting antivirals.	Hepatol Res. 2018 Jan; 48: 78-86.	Original Article
19	Okada Y, Wang T, Kasai K, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Regulation of transforming growth factor is involved in the efficacy of combined 5-fluorouracil and interferon alpha-2b therapy of advanced hepatocellular carcinoma.	Cell Death Discov. 2018 Mar; 4: 42.	Original Article
20	Suzuki Y, Kakisaka K, Kuroda H, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Splenic infarction associated with acute infectious mononucleosis.	Korean J Intern Med. 2018 Mar; 33: 451-452.	Others

21	Yoshida Y, Okada Y, Suzuki A, et al.	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Fatal acute hepatic failure in a family infected with the hepatitis A virus subgenotype IB: A case report.	Medicine (Baltimore). 2017 Sep; 96: e7847.	Case report
22	Hasegawa Y, Ikeda K, Chen Y, et al.	内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Repression of Adipose Tissue Fibrosis through a PRDM16-GTF2IRD1 Complex Improves Systemic Glucose Homeostasis.	Cell Metab. 2018 Jan; 27: 180-194.e6.	Original Article
23	Hasegawa Y, Ishigaki Y.	内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Heparin Cofactor II: A Novel Plausible Link of Obesity and Diabetes with Thrombosis.	J Atheroscler Thromb. 2017 Dec; 24: 1202-1203.	Others
24	Murai T, Takebe N, Nagasawa K, et al.	内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Association of epicardial adipose tissue with serum level of cystatin C in type 2 diabetes.	PLoS One. 2017 Sep; 12: e0184723.	Original Article
25	Nakamura M, Ishibashi Y, Tanaka F, et al.	内科学講座 腎・高血圧内科分野	Ability of B-Type Natriuretic Peptide Testing to Predict Cardioembolic Stroke in the General Population - Comparisons With C-Reactive Protein and Urinary Albumin.	Circ J. 2018 Mar; 82: 1017-1025.	Original Article
26	Nakamura M, Tanaka F, Segawa T, et al.	内科学講座 腎・高血圧内科分野	Temporal Trends in the Incidence and Clinical Features of Acute Myocardial Infarction in a Japanese Rural Area From 2006 to 2014.	Circ J. 2017 Nov; 81: 1854-1861.	Original Article
27	Nakamura M, Tanaka K, Tanaka F, et al.	内科学講座 腎・高血圧内科分野	Long-Term Effects of the 2011 Japan Earthquake and Tsunami on Incidence of Fatal and Nonfatal Myocardial Infarction.	Am J Cardiol. 2017 Aug; 120: 352-358.	Original Article

28	Takahashi S, Tanaka F, Yonekura Y, et al.	内科学講座 腎・高血圧内科分野	The urine albumin-creatinine ratio is a predictor for incident long-term care in a general population.	PLoS One. 2018 Mar; 13: e0195013.	Original Article
29	Ishikawa Y, Itoh T, Satoh M, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Impact of Water- and Lipid-Soluble Statins on Nonculprit Lesions in Patients with Acute Coronary Syndrome.	Int Heart J. 2018 Jan; 59: 27-34.	Others
30	Itoh T, Nakajima Y, Morino Y.	内科学講座 循環器内科分野	Proposed classification for a variant of Kounis syndrome.	Clin Chem Lab Med. 2017 May; 55: e107.	Letter
31	Koeda C, Yamaya S, Hozawa M, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Comparison of the Effects of Carperitide and Tolvaptan on Patients with Left Ventricular Dysfunction: A Two-Center Retrospective Study.	Cardiol Res Pract. 2017 Jul; 2017: 6935342.	Original Article
32	Nagata K, Tanaka R, Takagi H, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Improved diagnostic performance of transluminal attenuation gradient in combination with morphological evaluation of coronary artery stenosis using 320-row computed tomography.	Jpn J Radiol. 2018 Jan; 36: 51-58.	Original Article
33	Ohsawa M, Okamura T, Tanno K, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Risk of stroke and heart failure attributable to atrial fibrillation in middle-aged and elderly people: Results from a five-year prospective cohort study of Japanese community dwellers.	J Epidemiol. 2017 Aug; 27: 360-367.	Original Article
34	Taguchi Y, Itoh T, Oda H, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Coronary risk factors associated with OCT macrophage images and their response after CoCr everolimus-eluting stent implantation in patients with stable coronary artery disease.	Atheroscleroti- s. 2017 Oct; 265: 117-123.	Original Article

35	Yoshizawa R, Komatsu T, Kunugita F, et al.	内科学講座 循環器内科分野	Comparison of the CHADS(2), CHA(2)DS(2)-VASc and R(2)CHADS(2) Scores in Japanese Patients with Non- valvular Paroxysmal Atrial Fibrillation Not Receiving Anticoagulation Therapy.	Intern Med. 2017 Nov; 56: 2827-2836.	Original Article
36	Chiba S, Nakamura Y, Mizuno T, et al.	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野	Impact of the genetic variants of GLCCI1 on clinical features of asthmatic patients.	Clin Respir J. 2018 Mar; 12: 1166-1173.	Original Article
37	Morikawa N, Inoue A, Sugawara S, et al.	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野	Randomized phase II study of carboplatin plus irinotecan versus carboplatin plus amrubicin in patients with chemo-naïve extensive-stage small-cell lung cancer: North Japan Lung Cancer Study Group (NJLCG) 0901.	Lung Cancer. 2017 Sep; 111: 38-42.	Original Article
38	Nagashima H, Fujimura I, Nakamura Y, et al.	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野	Changes in pulmonary function of residents in Sanriku Seacoast following the tsunami disaster from the Great East Japan Earthquake.	Respir Investig. 2018 Mar; 56: 184- 188.	Original Article
39	Yamashita M, Ogasawara M, Kawasaki Y, et al.	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野	Deficiency of protein-L- isoaspartate (D-aspartate) O- methyl-transferase expression under endoplasmic reticulum stress promotes epithelial mesenchymal transition in lung adenocarcinoma.	Oncotarget. 2018 Jan; 9: 13287-13300.	Original Article
40	Yamashita M, Saito R, Yasuhira S, et al.	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病 内科分野	Distinct Profiles of CD163- Positive Macrophages in Idiopathic Interstitial Pneumonias.	J Immunol Res. 2018 Feb; 2018: 1436236.	Original Article
41	Murai K, Yamaguchi K, Ito S, et al.	内科学講座 血液腫瘍内科分野	Rapid reduction in BCR-ABL1 transcript predicts deep molecular response in dasatinib- treated chronic-phase chronic myeloid leukaemia patients.	Eur J Haematol. 2018 Jan; 100: 27-35.	Original Article

42	Takano M, Nishiya M, Kowata S, et al.	内科学講座 血液腫瘍内科分野	Oridonin induces apoptosis of myeloma cells by inducing c-Myc degradation via nuclear accumulation of Fbxw7 α .	J Cancer Sci 2017 Oct; 4: 1-6. (オンライン ン)	Original Article
43	Maeda T, Shimo Y, Chiu SW, et al.	内科学講座 神経内科・老年科分野	Clinical manifestations of nonmotor symptoms in 1021 Japanese Parkinson's disease patients from 35 medical centers.	Parkinsonism Relat Disord. 2017 May; 38: 54-60.	Original Article
44	Terayama Y.	内科学講座 神経内科・老年科分野	Evaluation of the Efficacy and Safety of Direct Oral Anticoagulants in Japanese Patients-Analysis of Pharmaceuticals and Medical Devices Agency Data.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Jun; 26: 1171- 1181.	Original Article
45	Akiyama Y, Iwaya T, Endo F, et al.	外科学講座	Stability of cervical esophagogastronomy via hand- sewn anastomosis after esophagectomy for esophageal cancer.	Dis Esophagus. 2017 May; 30: 1-7.	Original Article
46	Akiyama Y, Iwaya T, Endo F, et al.	外科学講座	Effectiveness of intervention with a perioperative multidisciplinary support team for radical esophagectomy.	Support Care Cancer. 2017 Dec; 25: 3733-3739.	Original Article
47	Akiyama Y, Iwaya T, Endo F, et al.	外科学講座	Laparoscopic repair of parahiatal hernia after esophagectomy: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Aug; 3: 91.	Case report
48	Akiyama Y, Iwaya T, Endo F, et al.	外科学講座	Investigation of operative outcomes of thoracoscopic esophagectomy after triplet chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil for advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Surg Endosc. 2018 Jan; 32: 391-399.	Original Article

49	Hasegawa Y, Wakabayashi G, Nitta H, et al.	外科学講座	A novel model for prediction of pure laparoscopic liver resection surgical difficulty.	Surg Endosc. 2017 Dec; 31: 5356-5363.	Original Article
50	Ishida K, Ito C, Ohmori Y, et al.	外科学講座	Inhibition of PI3K suppresses propagation of drug-tolerant cancer cell subpopulations enriched by 5-fluorouracil.	Sci Rep. 2017 May; 7: 2262.	Others
51	Ito C, Nishizuka SS, Ishida K, et al.	外科学講座	Analysis of PIK3CA mutations and PI3K pathway proteins in advanced gastric cancer.	J Surg Res. 2017 May; 212: 195-204.	Original Article
52	Otsuka K, Kimura T, Hakozaki M, et al.	外科学講座	Comparative benefits of laparoscopic surgery for colorectal cancer in octogenarians: a case-matched comparison of short- and long-term outcomes with middle-aged patients.	Surg Today. 2017 May; 47: 587-594.	Original Article
53	Takahara T, Wakabayashi G, Nitta H, et al.	外科学講座	The First Comparative Study of the Perioperative Outcomes Between Pure Laparoscopic Donor Hepatectomy and Laparoscopy-Assisted Donor Hepatectomy in a Single Institution.	Transplantation. 2017 Jul; 101: 1628- 1636.	Original Article
54	Umemura A, Ishida K, Nitta H, et al.	外科学講座	A Rare Case of Intraductal Tubulopapillary Neoplasm of the Pancreas Rupturing and Causing Acute Peritonitis.	Case Rep Gastroenterol . 2017 Nov; 11: 661-666.	Case report
55	Umemura A, Nitta H, Takahara T, et al.	外科学講座	Current status of laparoscopic pancreaticoduodenectomy and pancreatectomy.	Asian J Surg. 2018 Mar; 41: 106-114.	Review

56	Umemura A, Sasaki A, Nitta H, et al.	外科学講座	Pancreas volume reduction and metabolic effects in Japanese patients with severe obesity following laparoscopic sleeve gastrectomy.	Endocr J. 2017 May; 64: 487-498.	Original Article
57	Umemura A, Takahara T, Nitta H, et al.	外科学講座	Is sarcopenia a prognostic factor after living donor liver transplantation?	Hepatobiliary Surg Nutr. 2017 Aug; 6: 258-259.	Others
58	Yaegashi M, Otsuka K, Kimura T, et al.	外科学講座	Transumbilical abdominal incision for laparoscopic colorectal surgery does not increase the risk of postoperative surgical site infection.	Int J Colorectal Dis. 2017 May; 32: 715- 722.	Original Article
59	Chida K, Sugawara A, Koji T, et al.	脳神経外科学講座	Primary Intramedullary Malignant Lymphoma in the Cervical Cord with a Presyrinx State.	Cureus. 2017 Dec; 9: e2006.	Case report
60	Kojima D, Beppu T, Saura H, et al.	脳神経外科学講座	Apparent diffusion coefficient and arterial spin labeling perfusion of conventional chondrosarcoma in the parafalcine region: a case report.	Radiol Case Rep. 2017 Oct; 13: 220- 224.	Case report
61	Matsumoto Y, Oikawa K, Nomura JI, et al.	脳神経外科学講座	Optimal Brain 99mTc-Ethyl Cysteinate Dimer SPECT Imaging and Analysis to Detect Misery Perfusion on 15O PET Imaging in Patients With Chronic Occlusive Disease of Unilateral Major Cerebral Artery.	Clin Nucl Med. 2017 Jul; 42: 499- 505.	Original Article
62	Nanba T, Nishimoto H, Yoshioka Y, et al.	脳神経外科学講座	Apparent brain temperature imaging with multi-voxel proton magnetic resonance spectroscopy compared with cerebral blood flow and metabolism imaging on positron emission tomography in patients with unilateral chronic major cerebral artery stenocclusive disease.	Neuroradiolog y. 2017 Sep; 59: 923-935.	Original Article

63	Oikawa K, Kato T, Oura K, et al.	脳神経外科学講座	Preoperative cervical carotid artery contrast-enhanced ultrasound findings are associated with development of microembolic signals on transcranial Doppler during carotid exposure in endarterectomy.	Atherosclerosis. 2017 May; 260: 87-93.	Original Article
64	Shimada Y, Oikawa K, Fujiwara S, et al.	脳神経外科学講座	Comparison of Three-Dimensional T1-Weighted Magnetic Resonance and Contrast-Enhanced Ultrasound Plaque Images for Severe Stenosis of the Cervical Carotid Artery.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Sep; 26: 1916-1922.	Original Article
65	Nomura JI, Uwano I, Sasaki M, et al.	脳神経外科学講座	Preoperative Cerebral Oxygen Extraction Fraction Imaging Generated from 7T MR Quantitative Susceptibility Mapping Predicts Development of Cerebral Hyperperfusion following Carotid Endarterectomy.	AJNR Am J Neuroradiol. 2017 Dec; 38: 2327-2333.	Original Article
66	Kamada T, Minatoya K, Okabayashi H, et al.	心臓血管外科学講座	Total arch replacement in a patient with a tracheostoma through a reverse L-shaped partial sternotomy.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2017 Jul; 65: 400-403.	Case report
67	Shigeeda W, Shibazaki M, Yasuhira S, et al.	呼吸器外科学講座	Hyaluronic acid enhances cell migration and invasion via the YAP1/TAZ-RHAMM axis in malignant pleural mesothelioma.	Oncotarget. 2017 Sep; 8: 93729-93740.	Original Article
68	Kikuchi S, Tajima G, Yan J, et al.	整形外科科学講座	Morphology of insertion sites on patellar side of medial patellofemoral ligament.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2017 Aug; 25: 2488-2493.	Original Article
69	Mimata Y, Nishida J, Nagai T, et al.	整形外科科学講座	Importance of latissimus dorsi muscle preservation for shoulder function after scapulectomy.	J Shoulder Elbow Surg. 2018 Mar; 27: 510-514.	Original Article

70	Sato K, Murakami K, Mimata Y, et al.	整形外科学講座	Superficial Ulnar Artery Crossing Over the Palmaris Longus Tendon at the Wrist in a Cadaver: A Case Report.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2018 Mar; 23: 137- 139.	Case report
71	Tsukimura I, Murakami H, Sasaki M, et al.	整形外科学講座	Assessment of magnetic field interactions and radiofrequency- radiation-induced heating of metallic spinal implants in 7 T field.	J Orthop Res. 2017 Aug; 35: 1831-1837.	Original Article
72	Yamabe D, Murakami H, Chokan K, et al.	整形外科学講座	Evaluation of Water Content in Lumbar Intervertebral Discs and Facet Joints Before and After Physiological Loading Using T2 Mapping MRI.	Spine (Phila Pa 1976). 2017 Dec; 42: E1423- E1428.	Original Article
73	Sato K, Murakami K, Mimata Y, et al.	整形外科学講座	Incidence of tendon rupture following volar plate fixation of distal radius fractures: A survey of 2787 cases.	J Orthop. 2018 Feb 3; 15: 236-238.	Original Article
74	Tokunaga K, Sato K, Tajima G et al.	整形外科学講座	Reinvestigation of the Morphological Characteristics of the Lateral Ulnar Collateral Ligament in Humans.	Okajimas Folia Anat Jpn. 2017 Jun; 93: 147- 152.	Original Article
75	Chiba Y, Sato S, Itamochi H, et al.	産婦人科学講座	Establishment and characterization of a novel uterine carcinosarcoma cell line, TU-ECS-1, with mutations of TP53 and KRAS.	Hum Cell. 2017 Apr; 30: 140-148.	Others
76	Chiba Y, Sato S, Itamochi H, et al.	産婦人科学講座	Inhibition of Aurora Kinase A Synergistically Enhances Cytotoxicity in Ovarian Clear Cell Carcinoma Cell Lines Induced by Cisplatin: A Potential Treatment Strategy.	Int J Gynecol Cancer. 2017 Oct; 27: 1666-1674.	Original Article

77	Itamochi H, Oishi T, Oumi N, et al.	産婦人科学講座	Whole-genome sequencing revealed novel prognostic biomarkers and promising targets for therapy of ovarian clear cell carcinoma.	Br J Cancer. 2017 Aug; 117: 717-724.	Original Article
78	Kanasugi T, Kikuchi A, Uesugi N, et al.	産婦人科学講座	Pentalogy of Cantrell in a monozygotic twin with a giant omphalocele firmly attached to the amniotic membrane: Successful prenatal diagnosis and cesarean delivery.	Congenit Anom (Kyoto). 2018 Mar; 58: 73-74.	Others
79	Kojima A, Shimada M, Mikami Y, et al.	産婦人科学講座	Chemoresistance of Gastric-Type Mucinous Carcinoma of the Uterine Cervix: A Study of the Sankai Gynecology Study Group	Int J Gynecol Cancer. 2018 Jan; 28: 99-106.	Original Article
80	Sasaki Y, Kikuchi A, Suga Y, et al.	産婦人科学講座	Progressive Fetal Subdural Hematoma Associated With Maternal Vitamin K Deficiency: Prenatal Diagnosis and Neurologically Favorable Prognosis.	J Ultrasound Med. 2017 Sep; 36: 1961-1963.	Letter
81	Shoji T, Takatori E, Omi H, et al.	産婦人科学講座	A phase II study of irinotecan and pegylated liposomal doxorubicin in platinum-resistant recurrent ovarian cancer (Tohoku Gynecologic Cancer Unit 104 study).	Cancer Chemother Pharmacol. 2017 Aug; 80: 355-361.	Original Article
82	Sugiyama T, Takeuchi S, Itamochi H.	産婦人科学講座	Surgical management of non-invasive uterine clear cell carcinoma.	J Gynecol Oncol. 2017 Jul; 28: e55.	Others
83	Chida H, Kikuchi A, Kanasugi T, et al.	産婦人科学講座	Facial expressions of fetal growth restriction and appropriate-for-gestational age fetuses assessed by four-dimensional high-definition live ultrasound.	Gynecol Obstet (Sunnyvale) 2017 Oct; 7: 455.	Original Article

84	Furutake Y, Fukagawa T, Suga Y, et al.	産婦人科学講座	Gemcitabine and docetaxel in a patient with primary ovarian leiomyosarcoma: a case report and review of literature.	Int canc conf J. 2018 Jan; 7: 11-15.	Case report
85	Chida H, Kikuchi A, Kagabu T, et al.	産婦人科学講座	Primary rectal abdominal pregnancy treated by low anterior resection.	J Reprod Med. 2018 Jan; 63: 165-167.	Case report
86	Shoji T, Takeshita R, Mukaida R, et al.	産婦人科学講座	Angiomyofibroblastoma of the vulva diagnosed preoperatively: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Sep; 7: 407-411	Case report
87	Asami M, Kamei A, Nakakarumai M, et al.	小児科学講座	Intellectual outcomes of extremely preterm infants at school age.	Pediatr Int. 2017 May; 59: 570-577.	Original Article
88	Hiraumi H, Sato H, Ito J.	耳鼻咽喉科学講座	Papercraft temporal bone in the first step of anatomy education.	Auris Nasus Larynx. 2017 Jun; 44: 277-281.	Original Article
89	Sato H, Kuwashima S, Nishio SY, et al.	耳鼻咽喉科学講座	Epidemiological survey of acute low-tone sensorineural hearing loss.	Acta Otolaryngol. 2017 Apr; 137: S34-S37.	Original Article
90	Hashiura T, Kimura E, Fujisawa S, et al.	眼科学講座	Live imaging of primary ocular vasculature formation in zebrafish.	PLoS One. 2017 Apr; 12: e0176456.	Original Article

91	Ogasawara S, Hashizume K, Okuno T, et al.	眼科学講座	Effect of Geranylgeranylacetone on Ultraviolet Radiation Type B- Induced Cataract in Heat-Shock Transcription Factor 1 Heterozygous Mouse.	Curr Eye Res. 2017 May; 42: 732-737.	Original Article
92	Okubo A, Takahashi K, Akasaka T, et al.	皮膚科学講座	Four cases of Morbihan disease successfully treated with doxycycline.	J Dermatol. 2017 Jun; 44: 713-716.	Others
93	Abe T, Onoda M, Matsuura T, et al.	泌尿器科学講座	Non-machinery dialysis that achieves blood purification therapy without using full-scale dialysis machines.	J Artif Organs. 2017 Sep; 20: 230- 235.	Original Article
94	Abe T, Oomori S, Obara W.	泌尿器科学講座	Current Status of Hepatitis C Virus-Infected Maintenance Hemodialysis Patients in Japan.	Ther Apher Dial. 2018 Feb; 22: 58- 60.	Original Article
95	Ikarashi D, Ishida K, Kashiwaba M, et al.	泌尿器科学講座	Sporadic breast metastasis derived from renal cell carcinoma: A case report.	Urol Case Rep. 2017 Dec; 16: 126- 128.	Case report
96	Ito A, Kato Y, Shiomi E, et al.	泌尿器科学講座	Renal pelvic cancer with spleen invasion arising in horseshoe kidney; a case report.	Urol Case Rep. 2017 Dec; 16: 123- 125.	Case report
97	Obara W, Eto M, Mimata H, et al.	泌尿器科学講座	A phase I/II study of cancer peptide vaccine S-288310 in patients with advanced urothelial carcinoma of the bladder.	Ann Oncol. 2017 Apr; 28: 798-803.	Original Article
98	Obara W, Kanehira M, Katagiri T, et al.	泌尿器科学講座	Present status and future perspective of peptide-based vaccine therapy for urological cancer.	Cancer Sci. 2018 Mar; 109: 550-559.	Review

99	Obara W, Kato R, Kato Y, et al.	泌尿器科学講座	Recent progress in immunotherapy for urological cancer.	Int J Urol. 2017 Oct; 24: 735-742.	Review
100	Obara W, Sato F, Takeda K, et al.	泌尿器科学講座	Phase I clinical trial of cell division associated 1 (CDCA1) peptide vaccination for castration resistant prostate cancer.	Cancer Sci. 2017 Jul; 108: 1452-1457.	Original Article
101	Onuma Y, Otsuka K, Endo J, et al.	神経精神科学講座	Length of stay of suicide attempters who became inpatients from emergency outpatients: examination of the predictive factors	The Journal of Iwate Medical Association 2017.Oct 69: 193-207	Original Article
102	Yoshioka C, Fukumoto K, Nunosawa F, et al.	神経精神科学講座	Biological indicators for burnout: verification using salivary α - amylase activity, cortisol and chromogranin A concentration	The Journal of Iwate Medical Association 2017.Aug 69: 137-148	Original Article
103	Koizumi F, Otsuka K, Endo J, et al.	神経精神科学講座	Predictors for the length of stay of emergency psychiatric patients	The Journal of Iwate Medical Association 2017.Aug 69: 125-136	Original Article
104	Segawa T, Kato K, Kawashima K, et al.	放射線医学講座	The influence of a peritoneovenous shunt for cirrhotic and malignant intractable ascites on renal function.	Acta Radiol Open. 2018 Mar 26; 7: 20584601187 64208.	Original Article
105	Tamura A, Nakasato T, Tarusawa T, et al.	放射線医学講座	Radiological assessment of the skeletal remains from Hiraizumi, Japan: review of results from the 1950 investigation.	Jpn J Radiol. 2017 Nov; 35: 689-694.	Others

106	Yoshioka K, Tanaka R, Takagi H, et al.	放射線医学講座	Ultra-high-resolution CT angiography of the artery of Adamkiewicz: a feasibility study.	Neuroradiolog y. 2018 Jan; 60: 109-115.	Original Article
107	Satoshi Y, Eiichi S, Hisanori A, Shigeru E, et al.	放射線医学講座	Disposable condenser dosimeter using a skin-insulated mini- substrate with a silicon X-ray diode in image-guided radiation therapy	Int J Med Phys Clin Eng Radiat Oncol. 2018 Feb; 7: 35-46	Original Article
108	Kobayashi T, Watanabe Y, Aizawa J, et al.	麻酔学講座	Factors affecting the early post- operative prognosis in morbidly obese surgical patients after laparoscopic sleeve gastrectomy - a retrospective cohort study.	JA Clin Rep. 2017 Aug; 3: 47 (オンライ ン)	Original Article
109	Oohata M, Aoki Y, Miyata M, et al.	麻酔学講座	Japanese traditional herbal medicine reduces use of pregabalin and opioids for pain in patients with lumbar spinal canal stenosis: a retrospective cohort study.	JA Clin Rep. 2017 Oct; 3: 60 (オンライ ン)	Original Article
110	Wakimoto MM, Nakano Y, Suzuki KS	麻酔学講座	Efficacy of ultrasound-guided transversus abdominis plane block and rectus sheath block compared with epidural analgesia and intravenous fentanyl infusion for postoperative analgesia after laparoscopic colorectal surgery. A retrospective observational study	JIMA. 2017 Dec; 69: 281- 287.	Original Article
111	Kumagai M, Koishi W, Takahashi H, et al.	麻酔学講座	Perioperative management of a pregnant patient with mediastinal tumor complicated by tuberculosis.(Case Report)	JA Clin Rep. 2017 Dec; 3: 66 (オンライ ン)	Original Article
112	Fujita Y, Mita T, Usui K, et al.	救急・災害・総合医学講座 救急医学分野	Toxicokinetics of the Synthetic Cathinone α - Pyrrolidinohexanophenone.	J Anal Toxicol. 2018 Jan; 42: e1- e5.	Case report

113	Ishibe Y, Shibata S, Takahashi G, et al.	救急・災害・総合医学講座 救急医学分野	Association of type II secretory phospholipase A(2) and surfactant protein D with the pulmonary oxygenation potential in patients with septic shock during polymyxin-B immobilized fiber-direct hemoperfusion.	J Clin Apher. 2017 Oct; 32: 302-310.	Original Article
114	Takahashi G, Shibata S, Endo S.	救急・災害・総合医学講座 救急医学分野	eicosanoids as Risk and Prognostic Factors for Acute Respiratory Distress Syndrome in Sepsis Patients.	J Pulm Respir Med. 2017 Dec;7:435.	Original Article
115	Omama S, Ogasawara K, Ishibashi Y, et al.	高度救命救急センター	The Impact and Effectivity of an Inventory Survey for a Stroke Registry in Iwate Prefecture.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Oct;26: 2160-2166.	Original Article
116	Eizuka M, Sugai T, Habano W, et al.	病理診断学講座	Molecular alterations in colorectal adenomas and intramucosal adenocarcinomas defined by high-density single-nucleotide polymorphism arrays.	J Gastroenterol . 2017 Nov; 52: 1158-1168.	Original Article
117	Osakabe M, Fukagawa T, Fukagawa D, et al.	病理診断学講座	Struma ovarii with unique histological features: a case report	Int J Clin Exp Pathol. 2017 Nov; 10: 11230-11233	Case report
118	Sato A, Kawasaki T, Abo-Yashima A, et al.	病理診断学講座	Cytological features of lymphoepithelioma-like carcinoma of the breast.	Cytopathology. 2017 Apr; 28: 169-172.	Others
119	Sugai T, Habano W, Takagi R, et al.	病理診断学講座	Analysis of molecular alterations in laterally spreading tumors of the colorectum.	J Gastroenterol . 2017 Jun; 52: 715-723.	Original Article

120	Sugai T, Takahashi Y, Eizuka M, et al.	病理診断学講座	Molecular profiling and genome-wide analysis based on somatic copy number alterations in advanced colorectal cancers.	Mol Carcinog. 2018 Mar; 57: 451-461.	Original Article
121	Sugai T, Yamada N, Eizuka M, et al.	病理診断学講座	Vascular Invasion and Stromal S100A4 Expression at the Invasive Front of Colorectal Cancer are Novel Determinants and Tumor Prognostic Markers.	J Cancer. 2017 Jun; 8: 1552-1561.	Original Article
122	Sugai T, Yoshida M, Eizuka M, et al.	病理診断学講座	Analysis of the DNA methylation level of cancer-related genes in colorectal cancer and the surrounding normal mucosa.	Clin Epigenetics. 2017 May; 9: 55.	Original Article
123	Tsuchida K, Sugai T, Uesugi N, et al.	病理診断学講座	Expression of cell cycle-related proteins in oropharyngeal squamous cell carcinoma based on human papilloma virus status.	Oncol Rep. 2017 Aug; 38: 908-916.	Original Article
124	Uesugi N, Sugai T, Sugimoto R, et al.	病理診断学講座	Clinicopathological and molecular stability and methylation analyses of gastric papillary adenocarcinoma.	Pathology. 2017 Oct; 49: 596-603.	Original Article
125	Uesugi N, Sugimoto R, Eizuka M, et al.	病理診断学講座	Case of gastric neuroendocrine carcinoma showing an interesting tumorigenic pathway.	World J Clin Cases. 2017 Nov; 5: 397- 402.	Case report
126	Nishijima T, Kizawa T, Hosokawa K, et al.	睡眠医療学科	Prevalence of sleep-disordered breathing in Japanese medical students based on type-3 out-of-center sleep test.	Sleep Med. 2018 Jan; 41: 9-14.	Original Article

127	Hosokawa K, Nishijima N, et al.	睡眠医療学科	Comparison of Sleep Latency Measured by the Oxford Sleep Resistance Test and Simultaneous EEG in Japanese Patients	J Sleep Disord Ther. 2017 Jun; 6: 1000270.	Original Article
128	Tokutomi T, Fukushima A, Yamamoto K, et al.	臨床遺伝学科	f-treeGC: a questionnaire-based family tree-creation software for genetic counseling and genome cohort studies.	BMC Med Genet. 2017 Jul; 18: 71.	Others
129	Yamamoto K, Hachiya T, Fukushima A, et al.	臨床遺伝学科	Population-based biobank participants' preferences for receiving genetic test results.	J Hum Genet. 2017 Dec; 62: 1037-1048.	Original Article
130	Nemoto A, Chosa N, Kyakumoto S, et al.	歯科保存学講座 う蝕治療学分野	Water-soluble factors eluted from surface pre-reacted glass-ionomer filler promote osteoblastic differentiation of human mesenchymal stem cells	Mol Med Rep, 2018 Mar; 17: 3448-3454.	Original Article
131	Takizawa N, Okubo N, Kamo M, et al.	歯科保存学講座 歯周療法学分野	Bone marrow-derived mesenchymal stem cells propagate immunosuppressive/anti-inflammatory macrophages in cell-to-cell contact-independent and -dependent manners under hypoxic culture.	Exp Cell Res. 2017 Sep; 358: 411-420.	Original Article
132	Fukazawa S, Odaira C, Kondo H.	補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野	Investigation of accuracy and reproducibility of abutment position by intraoral scanners.	J Prosthodont Res. 2017 Oct; 61: 450-459.	Original Article
133	Kihara H, Sun J, Sakai M, et al.	補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野	A Survey of Dental Implant Instruction in Predoctoral Dental Curricula in North America.	J Dent Educ. 2017 Sep; 81: 1085-1090.	Original Article

134	Hatakeyama W, Taira M, Ikeda K et al.	補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野	Bone Regeneration of Rat Critical-size Calvarial Defects Using a Collagen/Porous-apatite Composite: Micro-CT Analyses and Histological Observations.	J Oral Tissue Engin. 2017 Sep; 15: 49-60.	Original Article
135	Abe R, Miyamoto I, Sato H, et al.	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	An unusually large osteochondroma of the mandibular angle: a case report.	World J Surg Oncol. 2017 Nov; 15: 201.	Case report
136	Mizuki H, Abe R, Kogi S, et al.	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	Immunohistochemical detection of Mycoplasma salivarium in oral lichen planus tissue.	J Oral Pathol Med. 2017 Sep; 46: 649-656.	Original Article
137	Mizuki H, Abe R, Mikami T.	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	Ultrastructural Changes during the Life Cycle of Mycoplasma salivarium in Oral Biopsies from Patients with Oral Leukoplakia.	Front Cell Infect Microbiol. 2017 Sep; 7: 403.	Original Article
138	Genki Y, Ikuya M, Ryousuke A, et al.	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	Nonsebaceous lymphadenoma of the sublingual gland: A case report and literature review	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2017 Nov; 29: 559-562.	Case report
139	Hatakeyama S, Ando Y, Miura H, et al.	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	LYMPHATIC ARCHITECTURE OF SUNCUS MURINUS (HOUSE MUSK SHREW) PALATUM	Lymphology. 2017 Jun; 50: 95-108	Original Article
140	Murakami A, Yasuhira S, Mayama H, et al.	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	Characterization of PAX9 variant P20L identified in a Japanese family with tooth agenesis.	PLoS One. 2017 Oct; 12: e0186260.	Original Article

141	Isobe K, Yokoyama T, Moriguchi- Mori K, et al.	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学 分野	Role of pituitary adenylyl cyclase-activating polypeptide in intracellular calcium dynamics of neurons and satellite cells in rat superior cervical ganglia.	Biomed Res. 2017 Apr; 38: 99-109.	Original Article
142	Kikuchi K, Masuda T, Fujiwara, et al.	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学 分野	Craniofacial Bone Regeneration using iPS Cell-Derived Neural Crest Like Cells	J Hard Tissue Biol. 2018 Jan; 27: 1-10	Original Article
143	Chiba T, Endo M, Miura S, et al.	口腔医学講座関連医学分野	Neutrophil CD64 expression in Crohn's disease following anti- TNF- α therapy.	J Cytokine Biol. 2017 Oct;2:119 /J Cytokine Biol. 2017 Oct (オ ンライン)	Original Article

計143件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会の審査事項、申請区分、開催日、審査方法、承認後の報告、記録の管理及び公開、申請書受付から審査結果までの流れ等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 学校法人岩手医科大学の職員等が行う産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理（マネジメント）することによって、大学及び職員等の社会的信用及び名誉の保持及び社会貢献の推進を図ることを目的する。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
・ 研修の主な内容 「遺伝子解析に伴う倫理的課題」「研究倫理Up date 2017」「個人情報保護法改正と医学研究における今後の課題」「臨床研究法で求められるCOI管理とは」	

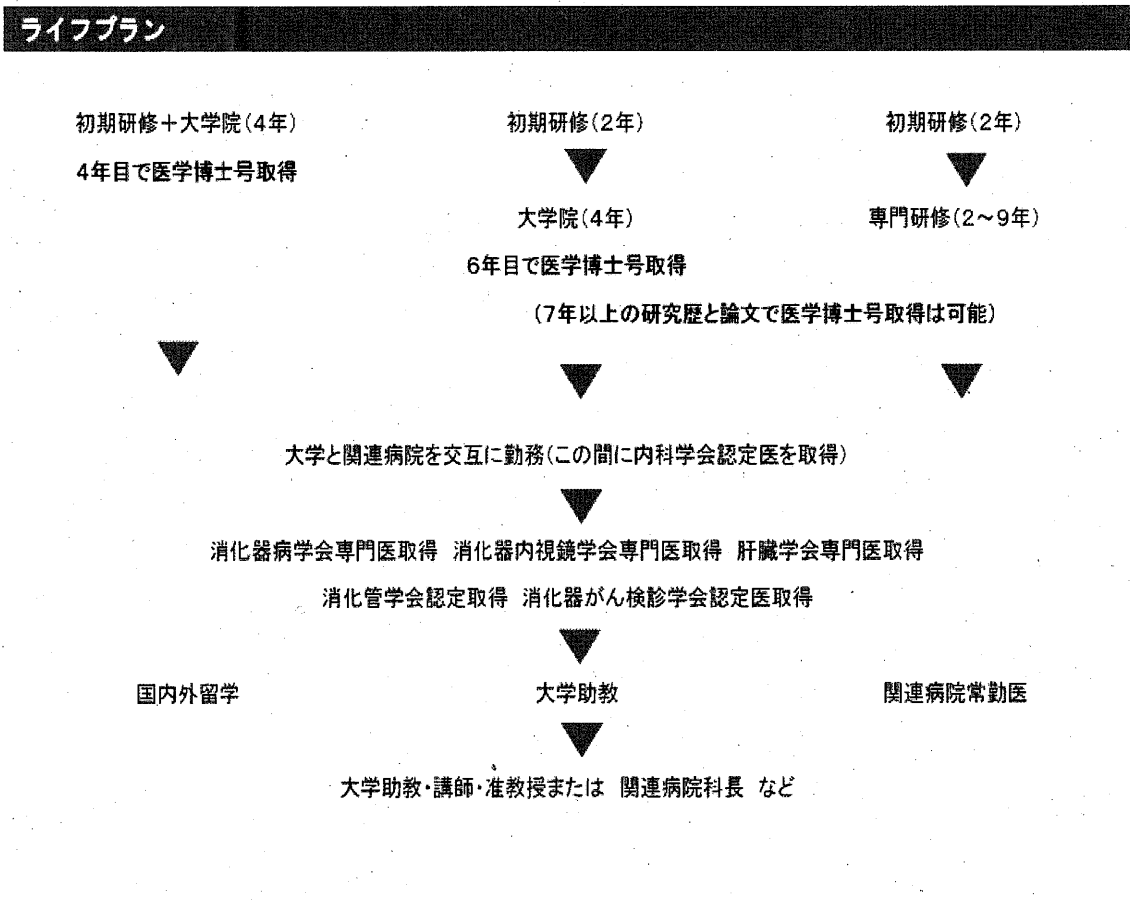
(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門領域において認定医および専門医等資格取得に至る修練期間が異なるが、①初期臨床研修終了後に認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、②初期臨床研修終了後に大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、③初期臨床研修を行いながら同時に社会人大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、など概ね3通りのコースを設けており、それぞれのライフプランに合わせた研修を行う。研修は自院の他に院外認定施設（病院）でも行われ、専門医等取得に向け領域の所定症例（数）の臨床経験、論文の執筆・発表および学会参加等、日々種々の研修を積む。一つの事例として、消化管内科・肝臓内科での研修のライフプランを図で示すと以下のとおりとなる。



(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	79 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松本 主之	消化管内科	教授	31年	
滝川 康裕	肝臓内科	教授	34年	
石垣 泰	糖尿病・代謝内科	教授	23年	
中村 元行	心血管・腎・内分泌内科	教授	39年	
森野 禎浩	循環器内科	教授	23年	
前門戸 任	呼吸器・アレルギー・膠原病内科	教授	27年	
伊藤 薫樹(代理)	血液・腫瘍内科	教授	25年	
寺山 靖夫	神経内科・老年科	教授	37年	
佐々木 章	外科	教授	28年	
小笠原 邦昭	脳神経外科	教授	32年	
金 一	心臓血管外科	教授	21年	
谷田 達男	呼吸器外科	教授	37年	
土井田 稔	整形外科	教授	32年	
柏 克彦	形成外科	教授	32年	
杉山 徹	産婦人科	教授	38年	
小山 耕太郎	小児科	教授	36年	
佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科	教授	34年	
志賀 清人	頭頸部外科	教授	34年	
黒坂 大次郎	眼科	教授	29年	
天野 博雄	皮膚科	教授	23年	
小原 航	泌尿器科	教授	19年	
大塚 耕太郎	精神神経科	教授	19年	
江原 茂	放射線診断科	教授	37年	

有賀 久哲	放射線治療科	教授	27年	
鈴木 健二	麻酔科	教授	31年	
井上 義博	救急科	教授	34年	
諏訪部 章	臨床検査科	教授	32年	
櫻井 滋	睡眠医療科	教授	35年	
菅井 有	病理診断科	教授	32年	
浅野 明子	歯科保存学講座う蝕治療学分 野	講師	22年	
佐々木 大輔	歯科保存学講座歯周療法学分 野	講師	15年	
近藤 尚知	補綴・インプラント学講座	教授	25年	
山田 浩之	口腔顎顔面再建学講座口腔外 科分野	教授	27年	
佐藤 健一	口腔顎顔面再建学講座歯科麻 酔学分野	教授	30年	
佐藤 和朗	口腔保健育成学講座歯科矯正 学分野	教授	29年	
森川 和政	口腔保健育成学講座小児歯科 学・障害者歯科学分野	教授	14年	
岸 光男	口腔医学講座予防歯科学分野	教授	32年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 小笠原 邦昭
管理担当者氏名	病院事務部長 塚澤 仁敏 及び 各所属課長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は薬剤部記録管理室
		手術記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は各診療科外来
		看護記録	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
		検査所見記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ等又は各診療科外来
		エックス線写真	診療記録保管室、放射線システムサーバ又は各診療科外来
		紹介状	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事職員課
		高度の医療の提供の実績	病院企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院企画課
		高度の医療の研修の実績	医師卒後臨床研修センター
		閲覧実績	病院企画課
		紹介患者に対する医療提供の実績	病院企画課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院企画課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部	

紙媒体の診療記録については、1入院1診療録のターミナル・デジタル方式にて管理している。
電子媒体の診療記録については各種サーバにて管理している。
診療記録の院外持ち出しは、原則として禁止している。

紙又は電子媒体で管理している。

紙又は電子媒体で管理している。

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療安全管理部	紙又は電子媒体で管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療安全管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	病院企画課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	病院企画課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	病院企画課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲覧責任者氏名	病院事務部長	塚澤 仁敏	
閲覧担当者氏名	病院企画課長	佐藤 嘉英	
	病院総務課長	吉田 博貴	
	医事課長	本館 孝信	
	人事職員課長	長岡 慶介	
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室		
閲覧の手続の概要			
閲覧希望があった場合、病院企画課が窓口となり閲覧の求めに応じる。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 基本理念 (2) 医療事故防止のための基本的な考え方 (3) 医療安全管理における職員の責務 (4) 医療安全管理組織体制の確立 (5) 医療安全管理のための職員の教育・研修 (6) 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 (7) 医療事故発生時の対応 (8) 医療事故等調査委員会の設置 (9) 患者相談窓口の設置 (10) 患者との情報共有 (11) 内部通報窓口の設置 (12) 医療安全に係る監査委員会 (13) 特定機能病院間の相互立入 (14) 高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療提供 (15) 院内暴力への対応</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理委員会として総合医療安全対策会議を設置した。総合医療安全対策会議は医療安全推進委員会、院内感染対策委員会を統括する。月1回開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する。 (2) 重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告 (3) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに病院職員への周知を図る。 (4) 総合医療安全対策会議（安全管理委員会）で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う。 (5) 総合医療安全対策会議（安全管理委員会）及び医療安全推進委員会に係る事務 (6) アクシデントが発生した場合の診療録等の調査確認及び原因分析、その件に基づく職員への指導 (7) 講習会等の医療安全に係る連絡及び調整 (8) 医療安全確保のための改善策の推進</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 35 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>医療に係る安全管理のための基本的な考え方及び具体的な方策（別紙1）</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 病院において発生した事故の総合医療安全対策会議（安全管理委員会）への報告
- (2) インシデント・アクシデント報告等あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。
- (3) 診療等における危険予知、患者の安全に対する認識などを取り纏めた医療安全管理のための対策マニュアルの整備
- (4) 重大な事故の発生時には、速やかに病院長へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等を精査し、内容に基づき作成する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 (7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、病院長への報告 (2) 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図る。 (3) 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う。 (4) 月1回開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 13 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策（別紙2）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。 (2) 重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保 (3) 「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品の係る安全対策 <ol style="list-style-type: none"> ① 医薬品安全使用に係る情報提供 ② 医薬品安全使用の業務手順書について ③ 当院採用 薬効別一覧について (2) 麻薬・覚せい剤原料の取り扱い (3) 副作用の一元管理 (4) 医薬品安全性情報等の管理 (5) 医療安全通知・医薬品安全性通知から 	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づいた「業務チェック表」を各部署に配布し、チェックしたものを回収し確認している。その回収した「業務チェック表」を基に、医療安全推進室の薬剤師・看護師及び医薬品・栄養部会（医師・薬剤師・看護師など）で各部署を巡視し、指導を行っている。</p> <p>最終的に医薬品安全管理責任者が確認を行っている。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：ヒスチジン銅 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品安全管理巡視の継続 (H28年度より開始) (2) 医薬品開封後の使用期限を記載するよう院内に周知し、医薬品開封後の使用期限表について医薬品名等を新しいものに更新 (3) 院内配合剤一覧（降圧薬）を更新 (4) 病棟勉強会の開催（麻薬に関するもの：東2、西4、その他：NICU、リハビリテーション部） (5) 新人看護師研修会での麻薬に関する講習会の実施 (6) 糖尿病、NST、簡易懸濁法に関する勉強会開催 (7) 医薬品安全性通知を作成、配布し周知 (8) 毒薬の紛失事例に対して毒薬の管理方法、管理の徹底について医療安全通知を作成、配布し周知 (9) グレープフルーツと併用注意の薬剤が多く、併用注意の薬剤を服用している入院患者が多いため、グレープフルーツを中止した。 (10) 販売名類似の伴う薬剤選択時の取り違え防止のため、薬剤をオーダーする際に【類似薬が存在するワーニングメッセージ】を表示した。 (11) 薬剤の特性に合った管理ができるようハイリスク薬シールの見直しを行った。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①医療機器安全使用のための研修会 ②臨床研修医への研修会 ③新規導入時における医療機器研修 ④医療安全対策に関する講習会 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有 無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①臨床工学技士による保守点検 年1または2回の院内における動作点検・消耗品の交換 ②メーカーまたは委託専門業者による保守点検 年1または2回の動作点検・消耗品の交換 ③保守契約付リース機器の専門業者による保守点検 年1回の動作点検・消耗品の交換
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： <ul style="list-style-type: none"> 使用事例なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①厚生労働省 HP、医薬品・医療機器総合機構(PMDA)サイトからの情報収集 ②機器製造及び販売業者からの情報提供は医療安全推進室または臨床工学部が窓口となり情報収集を行なっている ③医療機器の添付文書や一部取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理と管理 ④医療安全推進室及び臨床工学部より医療機器の安全性情報に関する文書を作成・配布し周知徹底を図っている

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>(1) 医療安全管理責任者は副院長・医療安全管理部長 (2) 医療安全管理部門は医療安全管理部で医療安全推進室、感染症対策室、事務室で構成され、医療安全管理部長が業務を統括している。 (3) 医薬品に関する安全確保のための情報・対策等は医薬品安全管理責任者と医療安全推進室で情報交換や検討を行っており、それらは医療安全管理部長に報告される。 (4) 医療機器に関する安全確保のための情報・対策等は医療機器安全管理責任者が統括している臨床工学部と医療安全推進室で情報交換等を行っており、それらは医療安全管理部長に報告される。 (5) 医療安全管理の対策等は医療安全推進室が取り纏め、医療安全推進委員会の委員長である医療安全管理部長が開催し委員会にて検討され、その内容は総合医療安全対策会議（医療安全管理委員会）に医療安全管理部長が報告し、対策等について審議している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部医薬品情報管理室（D1室）において、厚労省、PMDA、日本医療機能評価機構、日本病院薬剤師会等のホームページおよび製薬企業等から情報を収集し整理を行なっている。また、医療安全推進室専従薬剤師と情報の共有を行なっている。</p> <p>情報提供の周知方法としては、①定期的な医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」「医薬品に関する院内インシデント報告」の配布および薬剤部からの「D1ニュース」の発行配布。②必要に応じ、医療安全推進室からの「医療安全通知」および薬剤部からの「薬務連絡」「医薬品安全通知」により緊急の場合等に対応している。③電子カルテに「医薬品関連情報」ページを開設し、職員がいつでも確認できるようにしている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認・適応外・禁忌（併用・疾患）等については調剤時の疑義照会や病棟薬剤師による把握に努めている。把握できたデータは、持参薬鑑別時のものを含めて、医薬品情報管理室（D1室）に集約し、集計後、医薬品安全管理責任者に報告している。</p> <p>また、処方医に対する確認や指導を行う手順については、①調剤時や病棟薬剤師ができるだけ疑義照会を行う。②D1室で集約検討後、医薬品安全管理責任者と協議の上、「医薬品安全性情報」を作成し、文書にて全体への周知の他、該当診療科や担当医師へ報告を行っている。③状況に応じて、担当医師へ電子カルテや直接の報告を行い、検討を促すなどを行っている。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無） ・担当者の所属・職種：（所属：薬剤部， 職種：薬剤師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する</p>	

<p>規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 ：病状説明書・同意書を病院統一の様式に変更し、使用状況や記載内容を診療記録管理室が確認している。</p>	
<p>⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況</p> <p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療記録監査委員会にて記載内容を確認し、不備がある場合は改善するよう指導している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>⑥ 医療安全管理部門の設置状況</p> <p>・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（9）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（1）名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合医療安全対策会議（安全管理委員会）、医療安全推進委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存などの事務 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う (5) 重大な内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告 (6) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに病院職員への周知を図る。 (7) 立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う。 (8) 医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動 (9) 安全管理に必要な基本的なことや対策について職員研修を実施する。 <p>専従の医療に係る安全管理を行う者は次のとおり。いずれも医療安全推進室所属の看護師で、岩手医科大学附属病院総合医療安全対策会議規程第3条第19項に構成員として規定されている。</p> <p>専従看護師長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全基礎講座2014（H26/6/18～6/20、国際医療リスクマネジメント学会） ・医療事故調査制度に係る説明会（H27/9/8、東北厚生局） ・チーム医療安全（基礎）講習会（H28/6/25～6/26、国際医療リスクマネジメント学会） ・医療事故調査教育セミナー2016（H28/9/3～9/4、国際医療リスクマネジメント学会） ・医療安全倫理・モラル研修会2017（H29/6/11、国際医療リスクマネジメント学会） <p>専従主任看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全基礎講座2015（H27/6/24～6/26、国際医療リスクマネジメント学会） ・医療安全管理者養成研修（H27/9/10～9/18、日本看護協会） ・医療安全教育セミナー2015冬期（H28/2/3～2/5、国際医療リスクマネジメント学会） 	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

- ・医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ基礎編（H29/5/13～5/14、医療安全全国共同行動・ImSAFER研究会）

専従看護師

- ・医療安全基礎講座（H28/7/20～7/22、国際医療リスクマネジメント学会）
- ・BSN アイネット医療安全セミナーin盛岡（H29/8/25、医療安全全国共同行動・ImSAFER研究会）

- 病院長による各診療科の面談を実施し、問題点の把握や改善策の検討を行っている。
- 手術オカレンスについて医療安全推進室がモニタリングを行い、毎月の医療安全推進委員会に報告している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（3件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：高難度新規医療技術の使用の適否の審査等
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：未承認新規医薬品等の使用の適否の審査等
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年590件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年229件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

病院長、副院長、医療安全管理部、該当する関係者や責任者が出席し、事例検討会を開催している。改善策が必要な場合は医療安全推進委員会で周知、関係者に通知する、講習会を開催するなど対応する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：聖マリアンナ医科大学病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：聖マリアンナ医科大学病院）・無）

・技術的助言の実施状況

（指摘1）インシデント・アクシデント報告医師の件数、医師の報告率について確認。医師の報告率が3~4%とのことなので、報告率を上げる取り組みが必要。

（実施1）専従医師から医師に対し、提出の依頼を開始した。

（指摘2）管理者研修が実施されていなかったため、企画されることが望まれる。

（実施2）今後、講習会の講師も含め、内容や対象を検討する。

（指摘3）診療記録管理士が全死亡事例を確認し疑義がある事例を抽出しているとのことだが、抽出の段階から医療安全管理室が関与することが望ましい。

（実施3）部署等からの情報提供や報告があった場合、疑義が生じた場合は速やかに事実確認している。

（指摘4）脳外科病棟：リカバリールームの入室・退室基準、生体モニター装着基準等はないとのことでしたので、検討が必要。

（実施4）脳神経外科病棟以外にもリカバリールームのある病棟があるため、移転を見据え病院全体として検討する。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

当院では、医療福祉相談室内に「病院ご相談窓口」を設置している。対応職種は、医療ソーシャルワーカー9名（社会福祉士・精神保健福祉士）、病院長顧問2名である。受付時間は、病院の開院時間内としており、またプライバシーを保てるよう個室で対応している。面談のほか、電話での相談にも対応している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

別紙1 および別紙2のとおり

（医療安全推進室）

医師

- ・医療安全基礎講座 2012 (H24/6/27～6/29、国際予防医学リスクマネジメント連盟)
- ・第16回日本医療マネジメント学会学術総会 (H26/6/13～6/14、日本医療マネジメント学会)
- ・第17回日本医療マネジメント学会学術総会 (H27/6/12～6/13、日本医療マネジメント学会)
- ・JANAMEF セミナー (H28/2/21、日米医学交流財団)
- ・特定機能病院管理者研修 (H30/3/13～3/14、日本医療機能評価機構)

専従看護師長

- ・医療安全基礎講座 2014 (H26/6/18～6/20、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・医療事故調査制度に係る説明会 (H27/9/8、東北厚生局)
- ・チーム医療安全(基礎)講習会 (H28/6/25～6/26、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・医療事故調査教育セミナー2016 (H28/9/3～9/4、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・医療安全倫理・モラル研修会 2017 (H29/6/11、国際医療リスクマネジメント学会)

専従主任看護師

- ・医療安全基礎講座 2015 (H27/6/24～6/26、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・医療安全管理者養成研修 (H27/9/10～9/18、日本看護協会)
- ・医療安全教育セミナー2015 冬期 (H28/2/3～2/5、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ基礎編 (H29/5/13～5/14、医療安全全国共同行動・ImSAFER 研究会)

専従看護師

- ・医療安全基礎講座 (H28/7/20～7/22、国際医療リスクマネジメント学会)
- ・BSN アイネット医療安全セミナー in 盛岡 (H29/8/25、医療安全全国共同行動・ImSAFER 研究会)

専任薬剤師

- ・医薬品安全管理責任者等講習会 (H28/8/5、日本病院薬剤師会)
- ・医薬品安全管理責任者等講習会 (H29/9/15、日本病院薬剤師会)
- ・専従薬剤師 GRM のためのセミナー (H29/11/24、医療の質・安全学会)
- ・医薬品安全管理研修会 2017 秋季 (H29/12/2～12/3、国際医療リスクマネジメント学会)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者(病院長)

- ・平成29年度特定機能病院管理者研修 (H30/1/9～10、公益財団法人日本医療機能評価機構)

医療安全管理責任者(医療安全管理部長)

- ・平成29年度特定機能病院管理者研修 (H30/3/13～14、公益財団法人日本医療機能評価機構)

医薬品安全管理責任者

- ・平成29年度医薬品安全管理責任者講習会 (H29/9/15、一般社団法人日本病院薬剤師会)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師であること (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること (3) 組織管理能力等の附属病院を運営する上で必要な資質及び能力を有すること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 附属病院ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 附属病院ホームページに掲載予定 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
祖父江 憲治	岩手医科大学	○	学長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
佐藤 洋一	岩手医科大学		医学部長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
三浦 廣行	岩手医科大学		歯学部長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
小笠原 邦昭	岩手医科大学		附属病院長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
鈴木 健二	岩手医科大学		学長が指名する医師である副院長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
肥田 圭介	岩手医科大学		医療安全管理を担当する副院長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
宮田 剛	岩手県立中央病院 病院長		医学及び医療に関し識見を有する 学外者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
野原 勝	岩手県保健福祉部 技監兼副部長兼医		医学及び医療に関し識見を有する 学外者	有 <input checked="" type="radio"/> 無

	療政策室長		
--	-------	--	--

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 附属病院の管理運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 議事の概要については、附属病院臨床部長会議にて通知を行う ・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・公表の方法 附属病院ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有 (無)) 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
小笠原 邦昭	○	医師	病院長
鈴木 健二		医師	副院長
黒坂 大次郎		医師	副院長
土井田 稔		医師	副院長
肥田 圭介		医師	副院長
森野 禎浩		医師	副院長(循環器医療センター長)
井上 義博		医師	副院長(岩手県高度救命救急センター長)
佐藤 和朗		歯科医師	副院長(歯科医療センター長)
工藤 賢三		薬剤師	薬剤部長
佐藤 悦子		看護師	看護部長
出口 育美		看護師	副看護部長
塚澤 仁敏		事務	病院事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
附属病院ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
附属病院長が有する附属病院の管理及び運営に必要な人事及び予算執行権限については、次の各号のとおり定めるものとする。
 - (1) 人事執行権限について 岩手医科大学附属病院規程
 - (2) 予算執行権限について 学校法人岩手医科大学事務専決規程
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 附属病院に、副院長を置く。
 - ・ 副院長は、附属病院長を補佐し、附属病院長に事故あるときは、あらかじめ附属病院長が指名した者がその職務を代理する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「平成29年度特定機能病院管理者養成研修（2日間）」を受講（平成30年1月10日）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	①・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理責任者、医療安全管理部、総合医療安全対策会議、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>② 必要に応じて、理事長又は附属病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 公表の方法： 附属病院ホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 医学部 医療 の質・安全管理 分野 主任教 授	○	医療に係る安全 管理に関する識 見を有する者	有・①無	1
渡辺 正和	渡辺正和法律 事務所 代表		法律に関する識 見を有する者	有・①無	1
古内 保之	元社会福祉法 人岩手県社会 福祉協議会 専務理事兼事 務局長		医療を受ける者 その他医療従事 者以外の者	有・①無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室において、定期監査及び臨時監査を実施している

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

附属病院ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 附属病院長に対し、附属病院の管理及び運営に関する事項の概要を、理事会に報告することを義務付け、職務の執行を管理している。 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ） ・ 公表の方法 附属病院ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">① 総合医療安全対策会議議事録の回覧表紙に窓口の案内を記載② 医療安全推進委員会資料の表紙に窓口の案内を記載